

小松駅周辺ふるさとの顔づくり計画

所在地: 石川県小松市
 発注者: 石川県小松市／(財)都市づくりパブリックデザインセンター
 期間: 1995～2000
 計画面積: 小松駅東地区 約14.5 ha
 小松駅西地区 約 5.7ha
 業務概要: 顔づくりのテーマと基本方針の策定
 公共空間の整備計画
 民有空間の誘導計画

小松市では、中心市街地の活性化を図るため「ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業」として、JR小松駅を挟んだ東西地区の区画整理事業を平成6年より進めてきた。

■顔づくりのテーマ:

人々が触れ合う生活文化の拠点“アーバン・オアシス”の創造

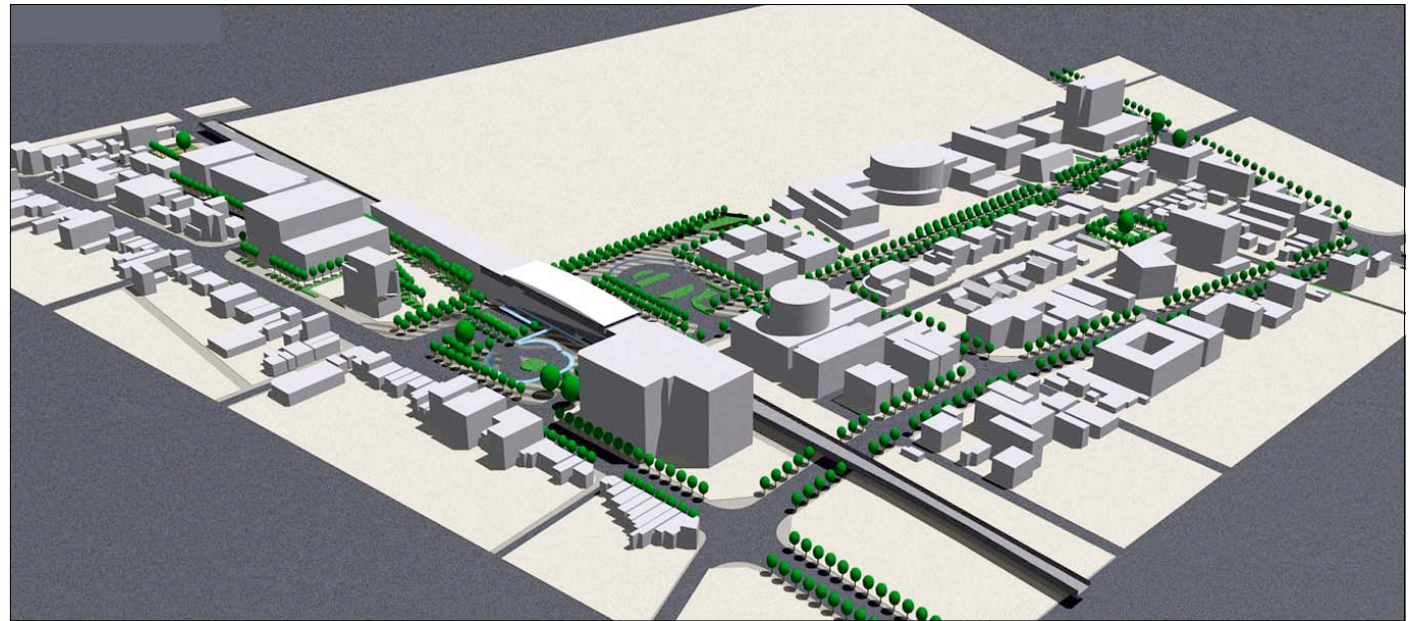
■顔づくりの基本方針:

- ① 新しい都市機能の集積による新しい小松の顔としての街
- ② ヒューマン・スケール、回遊性、界限性のある、歩いて楽しい街
- ③ 地域性を活かした文化の香りのする街
- ④ 多様で複合的な活動により歩行者の触れ合いと賑わいの発生する街

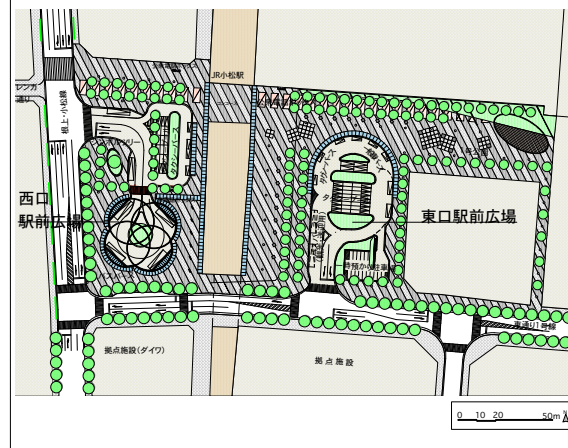
■公共施設の整備の考え方:

駅周辺全体の都市機能に配慮しつつ、アメニティ豊かな街路の修景を図り、人に優しく安全な歩行者空間のネットワークの形成、多様な都市交流空間の提供を目指す

西口駅前広場では、4つの円で構成されるバス・パースの形態をデザイン・チーフとしたシェルターと光のリングを屋、夜共に駅のランドマークとなる主要修景要素として提案している。

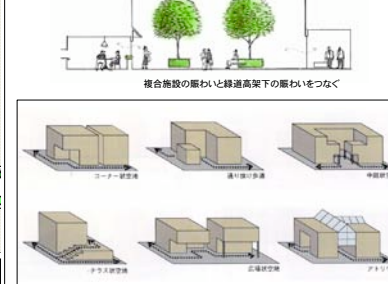


■駅前広場全体計画図



■快適な半公共空間の創造

- 敷地内の半公共空間を設ける
- 通り抜け空間をつくり歩行者動線を引き込む
- 半公共の空間を楽しく演出する
- 気象・気候条件に配慮する



■植栽・ランドスケープ

- 環境に配慮した緑豊かな空間を演出する
- 緑の多様な機能・特性を有効に活用する

